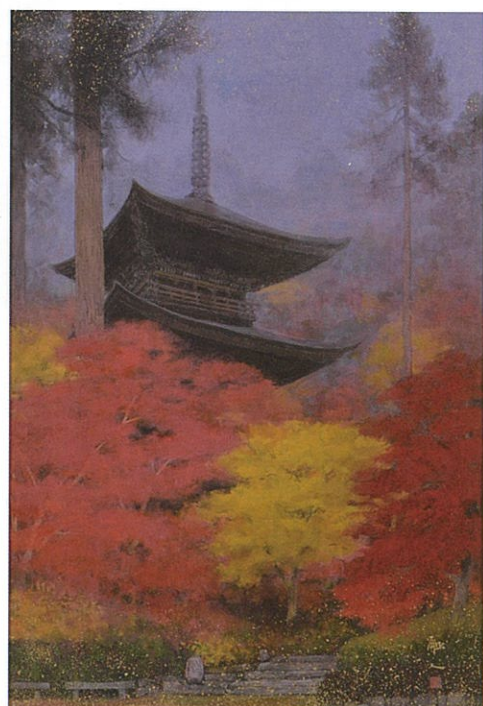
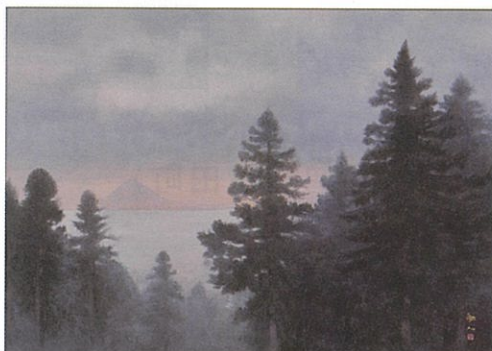
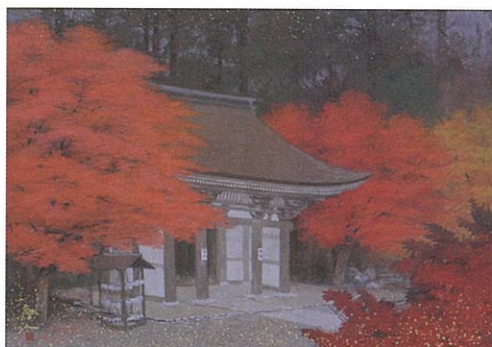
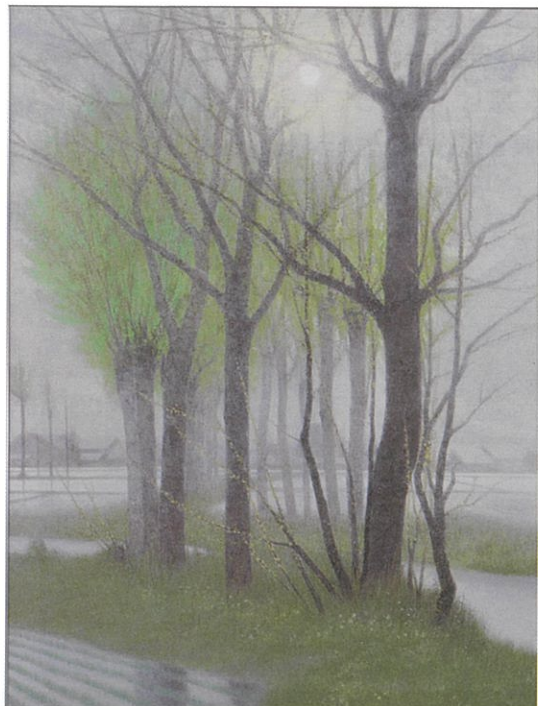


GO! まち協



中路融人記念館 木立の造形展より

特集

中山道灯り路



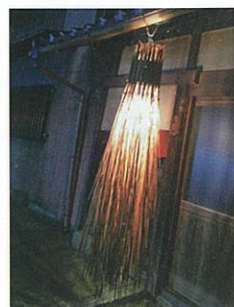
さなだ ようこ
真田 陽子 さん (五個荘竜田町)

葎葎きの古民家を現代にアレンジ

真田さんは大学で日本建築を学び、葎葎き屋根の会社に勤める職人さんです。勤め先の親方が以前に葎葎き工事をした家を借りて、5年ほど前から竜田町の住人に。いつしか自分の家を持ちたいと思っていると近所の声かけで、中山道を隔てた向かいの古民家を手に入れることができました。それ以来、休みを利用しては古民家の再生を始めました。琵琶湖に生育する葎を使うことで葎の更新ができ、環境を維持できるという思いから、屋根以外にも葎を使った外壁や大窓で現代風にアレンジされ、住み良さを追求されたとか…。

五個荘には葎葎きの家が多く、一軒でも多く残してもらえるようにこの葎葎き良さを見て、感じ、体験してもらえたい場所にした。

中山道の町並みをより長く残したいという思いが伝わってきました。



葎の造形で中山道灯り路に参加されました。



中部日本大会、関西大会に出場！！

五個荘中学校吹奏楽部

7月30日、近江八幡市文化会館で開催された中部日本大会滋賀県大会で小編成の部(部員31名)に出場し見事、金賞、県教育長賞、ハートフル賞を受賞し、10月8日、岐阜県羽島市文化センターで開催される中部日本大会への出場権を獲得しました。

また、8月22日に和歌山県民文化会館で開催された全日本吹奏楽連盟関西支部コンクールでは近畿から16校出場する中で銀賞に選ばれました。

部長の池本友梨さんは「部員を引っ張っていくのは大変で、迫力を必要とする難しい曲だったけど、みんなが楽しんで演奏できたことがよかった」と話されていました。



世代をつなぐ灯り路



山本町ふれあいサロン行灯づくり

8月25日、山本町ふれあいサロンでは中山道灯り路で灯す行灯づくりを行いました。今回は、夏休み中の子ども会のみならずにも参加していただきました。

画用紙に書いたイラストや切り絵とペットボトルを使い、ユニークな作品ができあがりました。

作業後には、一緒におやつを食べて交流を深め、いつものサロンよりも賑やかなふれあいの場となりました。

(寄稿：山本町ふれあいサロン)

きっかけはクールシェアリングから

石塚復興部

石塚町では、4年前から毎月会議所に高齢者やリタイアした中高年など、在宅のみんなが集まって楽しいひと時を過ごしてきました。

最初は猛暑の続く夏「家のエアコンを止めて一か所に集まり、クールシェアリングしましょう」ということがきっかけでした。参加者から200円をいただき、会議所の隣のフレンドマートでお茶菓子を買って、おしゃべりを楽しんでいます。中山道灯り路の作品作りをすることもあります。

最近では赤ちゃんを連れてお母さんたちも参加されるようになり、様々な世代の和気あいあいとした集いになっています。

(寄稿：五個荘石塚町自治会長 小串記之さん)



PSに完成品が載っています♪
ご覧ください！



シリーズ もっと知りたい五個荘 No.4

日本画家 中路融人さん



中路融人 (1933～)
文化功労者・日本芸術院会員・日展顧問・東近江市名誉市民



四月一七日、てんびんの里文化学習センター二階に、中路融人記念館が開館しました。中路さんはお母さまの故郷である五個荘木流町を幼い頃にたびたび訪れ、その自然の中で遊んだ思い出が自身の創作の原点であるいわれ、滋賀の自然、特に寒い時期の静かで潤いある空気を画面におさめておられます。

中路さんがよく描くモチーフのひとつに、榛の木(ハンノキ)があります。かつて田んぼの畦畔に植えられていたこの木は、稲藁干しなどに利用されてきましたが、現在では立ち並ぶ姿を見ることができなくなりました。このようなかつての美しい自然が画面いっぱいには広がる中路さんの作品を目の前にするとその臨場感に圧倒されるのではないのでしょうか。

八三歳になられた現在も精力的に創作活動を続けておられます。

十月二二日からは「中路融人の世界Ⅲ―木立の造形―」がはじまります。百済寺や金剛輪寺の紅葉など、芸術の秋にふさわしい実りある展示をぜひご覧ください。お待ちしております。

(寄稿：近江商人博物館・中路融人記念館学芸員 福井 瞳さん)

中山道灯り路



元火拝受



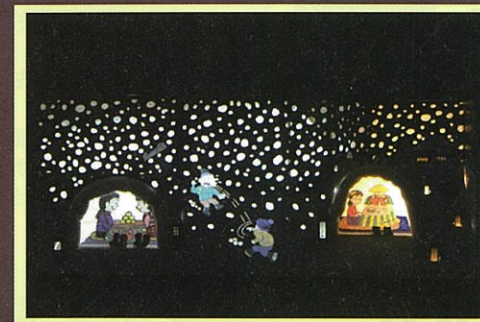
元火行列



オープニング



石塚町



山本町



北町屋町



元火隊のみなさん



大道芸



ストリートダンス



新堂町



三俣町



竜田町



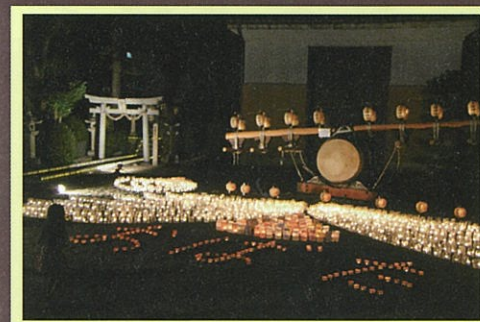
にぎわう模擬店



にぎわう模擬店



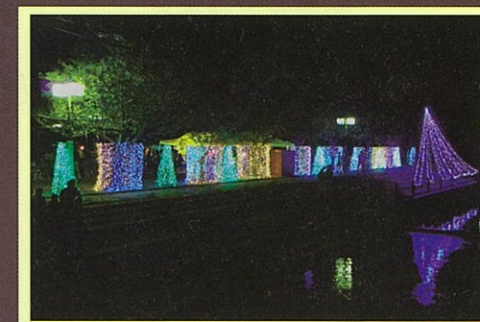
にぎわう模擬店



小幡町



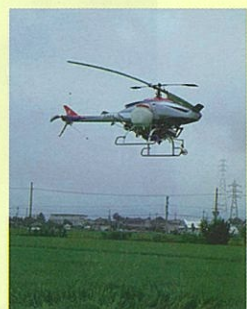
宮荘町



中央公園イルミネーション

9月24日、雨が心配されるなか、中山道灯り路が開催されました。竜田町の龍田神社で元火を拝受し、女神の蚊野七海さん（中学2年生）をはじめ、小学生に引かれたてんびん坊やたちが、「郷音」メンバーのたたくりズムよい太鼓の音で行列しながら沿線の自治会へ引き継がれました。午後6時からは力作の創作灯りに灯りがともされ、うまいもん市、パフォーマンスショー、スタンプラリーなどに大勢の人々で盛り上がりました。

みい〜つけた!



無人ヘリコプターで農薬散布（奥町）

稲穂が付き、これから実が入るという時は害虫に狙われたり、病気にかかりやすいものです。消毒は機械化がむずかしく、農家を悩ませます。そこで省力化に一役買っているのがラジコン操縦のヘリコプターです。奥町の水田ではこの夏、早朝から散布が行われました。

わが家のアイドル

すくすくのびのび
安心して大きくなってね
(パパ・ママより)



小幡町
大庭 慈瑛くん(小)
宮 智知くん(小)
し 思惟くん(年少)

◆五個荘クイズ◆

紅葉の名所として知られる湖東三山。
西明寺、金剛輪寺、もう一つはどのお寺でしょう。

- ①永源寺 ②百済寺 ③石馬寺

正解者の中から1名様に小幡人形(干支)をプレゼントします。
ふるってご応募ください♪お楽しみに!

応募方法

FAX、MAIL、または応募用紙を切り取って下記に設置の応募箱に投函してください。
【五個荘コミセン、ぶらぎ三方よし、てんびんの里文化学習センター、五個荘図書館】

- ・当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
- ・個人の情報は目的以外には使用しません。
- ・いただいたご意見・ご感想は紙面に掲載させていただく場合があります。

FAX:48-6454 MAIL:go-machikyo@e-omi.ne.jp

しめきり
11月30日
(水)

※キリトリ※
GO!まち協No.63

答え _____
氏名 _____
住所 _____
電話番号 _____
ご意見・ご感想 _____

62号の答え:◎山の日



五個荘まち協スローガン

心イキイキはつらつと
みんなが愉しむまちづくり

五中生徒も汗、(^_^);、東近江市総合防災訓練に参加

8月28日、午前7時30分から五個荘中学校を会場に、大型で強い台風と大雨、同時にマグニチュード7.6の地震が発生！この地震により家屋倒壊や火災が発生し、道路も寸断！との想定で市の防災訓練が実施されました。

グラウンドでは水防、初期消火、救出救助、災害ボランティアセンター設置、炊き出しの各訓練や応急手当、AEDの講習など、屋内では避難所の間仕切りパネルの設置や情報伝達の訓練などが行われました。自治会、まち協や各種団体、そして中学生も、みなさん非常時を意識し真剣な面持ちで活動されていました。

この訓練から得た教訓を生かし、警報時や避難勧告等が発令された時には「命を守る行動」をとるようつとめたいものです。



今年も始まった、大型金属資源回収

9月10日、東地区を皮切りに大型金属資源回収を実施しました。この日は多くの自治会推薦推進員さんにお手伝いいただき回収を行うことができました。最終回は南地区を対象に、11月12日(土)8時から11時まで搬入ができます。この機会に不用になった金属くずを整理されてはいかがでしょうか。ご高齢世帯などで搬入できない方は自治会長、民生委員にお申し出ください。まち協が引き取りにお伺いします。

なお、南地区以外で出しそびれた方の搬入もOKです。昨年の五個荘地区の回収量は20.4tでした。

知ってるカイ?こんな会

みなさん、お気づきですか?

近江織物から日吉町へ向かう市道沿いに、白い小さな花をつけたソバが栽培されています。やなせファームが5、6年前から契約栽培されている常陸秋ソバという小粒の品種です。ソバ粉は国産が不足し、外国産もブレンドされているそうで、ファームでは徐々に栽培面積を増やし、今年は7反も栽培されました。ほとんどは契約先に出荷されますが、仲間でソバの実を挽いてそば打ち体験をし、そのそばを味わい仲間のつながりを一層深められています。ソバの収穫は10月下旬から11月はじめとのことです。

また、黒米も栽培されていて、鉄分が豊富で体によく、3合の白米に10gの黒米を混ぜると小豆ご飯のような色合いに炊きあがりおいしいとのことです。

問い合わせ TEL: 090-3351-6792 (やなせファーム代表 伊野さん)

農事組合法人 やなせファーム



コーヒーから「さと御膳」まで

お食事処 紫陽花

(てんびんの里文化学習センター内)

営業 AM10:00 ~ PM4:30 定休日 月曜日・祝日の翌日
☎ 0748-48-5649



編集後記

63号から、編集会議に参加させていただいております。素敵なメンバーさんにまぜてもらい、会議はあっという間に時間が過ぎます。生まれも育ちも五個荘地区ながら、知らないことばかりで新鮮です。知れば知るほど素晴らしいまちに住んでいるのだと実感します。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

さて、63号がお手元に届くころはすっかり秋です。秋の日差しは趣深い五個荘地区の風景をより格調高く引き立たせますよね。カメラ片手に。スケッチブックを持って。身軽に手ぶらで。それぞれのスタイルで、皆で五個荘の秋を楽しみましょう！(M.M)

発行・編集 / 五個荘地区まちづくり協議会

事務所 〒529-1422 東近江市五個荘小幡町318

TEL: 0748-48-7303

MAIL: go-machikyo@e-omi.ne.jp

FAX: 0748-48-6454

HP: http://www.go-machikyo.jp/

IP: 050-5801-7303

広告募集中!! お問い合わせはまち協事務局まで。